

# 年末年始・春節 防疫対策の徹底!!

近隣諸国で口蹄疫が継続発生中

口蹄疫の原因: 口蹄疫ウイルス

・感染力が**非常に強い**

・感染力が**長期持続** (冷凍肉90日、乾草200日以上、衣服靴60日ウイルスが残る)

\* 口蹄疫は牛、豚、いのしし、めん山羊、鹿などの偶蹄類に感染します

<牛> 最もかかりやすい動物です

**感染 → 約6日の潜伏期 → 症状で**

(潜伏期: 明らかな症状が出ない時期、ウイルスは排出される)

症状: 潜伏期にも乳牛は乳量減少になることがある

発熱、流涎(よだれ)、跛行(歩き方の異常)

口、蹄、乳房に水疱できて、その後、潰瘍になる

\* 口蹄疫と似た症状でる病気との鑑別も重要

牛伝染性鼻気管炎、牛ウイルス性下痢粘膜病、ブルータング、趾間腐爛

牛は口の病変が顕著



歯床部粘膜のびらん(黒毛和種)

<豚> 牛の100~2,000倍のウイルスを排出する

**感染 → 約10日の潜伏期 → 症状で**

症状:

発熱(40.5℃以上)、食欲不振、嗜眠(寝てばかり)

蹄冠、趾間の水疱=跛行(痛くて歩きづらい)、座りがち

鼻、口腔、舌に水疱でき、その後、潰瘍になる

\* 口蹄疫と似た症状でる病気との鑑別も重要

豚水疱病、水疱性口炎、水疱疹、豚痘

豚は蹄病変が顕著



蹄冠部皮膚のびらん

Q. どうやって感染する? 接触感染、経口感染 など

→ 過去の感染原因(1870~1993年)

1. 汚染肉、畜産物、厨芥(残飯等の加熱不足) 66%
2. 風による伝播、渡り鳥 22%
3. 家畜の輸入、移動 6%
4. 汚染資材、器具、人 4%

# 年末年始・春節(中国H30.2.16)・平昌オリンピック(2月)

などで海外渡航者の増加が予想されます

## 「衛生管理区域への病原体持ち込み防止」の再確認

- ✓ 必要のない人を立ち入らせない
- ✓ 洗浄・消毒の徹底(靴、車、物品)
- ✓ 発生国への渡航自粛

Q. どの消毒薬が効くの? pH6以下の酸性、pH9以上のアルカリ性  
酸性: ビルコンやクレンテなどの消毒薬、酢酸、クエン酸  
アルカリ性: 消石灰、炭酸ナトリウムなど

**\* 逆性石鹼(パコマ、アストップ、クリアキル等)、アルコールは効きません!!**

## コスパがいいのは消石灰

- ・衛生管理区域に消石灰散布 0.5~1kg/m<sup>2</sup>
- ・踏込消毒槽に10%消石灰乳剤(10Lの水に消石灰1kg) pH12以上注意) 酸性とアルカリ性の消毒薬が混ざると効果がなくなります



車両消毒

農場の出入り口には幅3m×長さ7m以上  
(車の散布タイヤが一周する程度) 消石灰散布する

## ★近隣諸国 発生情報★

中国(貴州省)で口蹄疫(O型)が発生しました

11月21日 牛10頭淘汰 豚181頭淘汰

11月29日 牛54頭淘汰



## 帰国後の留意事項

どうしても発生国に  
行かなければならない場合

- ✓ 肉製品等を持ち帰らない
- ✓ 帰国の際は動物検疫所に立ち寄る
- ✓ 帰国後1週間は衛生管理区域に立ち入らない
- ✓ 海外で使用した衣服や靴を持ち込まない

年末年始も異状を認めた場合は家畜保健衛生所に連絡してください

☎ 0574-25-3111

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてくださいつながらない場合は 0574-25-3484  
土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けます

中濃家畜保健衛生所

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092